

海外安全対策情報第3四半期

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 2013年中の犯罪認知件数は、122,080件（前年比+1.3%）であった。

罪種別では、殺人321件（前年比-12.1%）、強盗2,989件（前年比+0.6%）、強姦135件（前年比-16.7%）、強制わいせつ266件（前年比-7.3%）、放火1,633件（前年比-2.4%）、略取誘拐・人身売買160件（前年比-12.1%）、窃盗66,007件（前年比-12.1%）、自動車・オートバイ盗3,560件（前年比+16.2%）であった。

(2) 人口当たりの発生件数を日本と比較すると、犯罪認知件数が約1.3倍、殺人が約6.0倍、強盗が約15.7倍、放火が約26.1倍、略取誘拐・人身売買が約14.6倍、窃盗が約1.2倍と日本に比べて凶悪犯罪の発生率が極めて高かった。

(3) 2013年中の交通事故死者数は、601件（前年比±0%）であり、人口当たりの発生件数を日本と比較すると、約2.4倍であった。

2 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していない。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件は認知していない。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られない。

以上